

岩手県職労

月2回刊=第1604号
 2022年6月30日
 発行日 毎月15日30日
 発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジョー印刷企画 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

県職連合第32回・県職労第128回定期大会

語り合いがだり(集まり)合う 県職労運動を

職場の仲間全員の組合加入をめざし、組織拡大を

6月4日、定期大会を開催し、賃金労働条件改善、人員確保、職場改善を軸とした運動方針について、多数の代議員の補強を受け方針を確立した。組織強化拡大、安心して働き続けられるための人員確保・職場環境の実現、定年延長課題ほか、参議院議員選挙比例代表推薦候補者「鬼木まこと」、選挙区推薦候補者「きどぐち英司」の必勝、労働運動を構築する大会宣言も満場一致で採択された。締めくくりとして小田嶋委員長

の団結カンパニーで意思統一した。

【委員長あいさつ】(要旨) 私青婦部長時代、岩手県内各地から本日の定期大会に結集した代議員の皆さんに敬意を表したい。

た。そのニュースの題名をひらがな3つで「かだる」とした。これは、全国の仲間と語り合う意味の「かだる」と、仲間の一人ひとり

策、自然災害への対応、鳥インフルエンザへの対応など、突発的な緊急対応等に奔走している実態がある。当局が言う部局横断的体制は、聞こえの良い言葉だが、人は増やさず内部でしっか

りやれということではかない。職員は疲弊し、誰にも相談できず悩むを一人で抱えて、溜まる一方の業務に不安を抱え、体調を崩してしまう職員も少なくない。

こうした職員の悩みや不安を掴み分析するために語り合う場が大切。それをできるのが組合。一人ひとりが参画し「かだる」取り組みが非常に大事である。

今年度の重要な取り組みが定年延長に向けた勤務労働条件の整備である。賃金水準をどうするか、2年に一度退職者の年齢が引き上げられる際の採用職員の配置の在り方など、詳細を詰めていかなければならない。場合によっては闘争体制を組みながらの交渉もあり得る。

【平和と民主主義を護るために】 ロシア政府によるウクライナ侵攻が今日で1000日目。犠牲者のほとんどが市民、子どもたちである。日本政府は世界の尊厳を護るよりも、経済不安の解消策に焦点を当てている。それどころか、アメリカ・バイデン大統領が訪日した際には、財源議論をしないまま勝手に防衛費を数兆円規模で増やすと約束した。国民の声では無く、財界や外相にしか目を向けない今の政権に立ち向かっていか



▲今年度の運動方針など議論を交わした県職連合第32回・県職労第128回定期大会

来賓あいさつ

自治労本部



伊藤裕一執行委員長

足に陥る中、新型コロナ対策

職場では決定的な人員不足に陥る中、新型コロナ対策

再び県職労組織内・野中や

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

県との連携でコロナ対策、地域経済を守る

野中やすし・来夏盛岡市市議選に組織内擁立

今定期大会で、来夏予定の盛岡市議会議員選挙に、再び県職労組織内・野中やすし盛岡市議を擁立することを確認し、必勝に向け取

り組む方針を確立した。野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

県職労組織内議員



野中靖志 (盛岡市議会議員)

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意

野中やすし活動報告決意



▲全ての議案を賛成多数で決定した

第五世代

今年も早くも半分が過ぎた。ニュースでは夏の政治決戦の報道が過熱している。誰もが政治に真剣に向き合う時期にきている。ただし、インターネットやテレビなどの報道だけで私たちの選択肢を決めるのは少し危うい

保健所に会計年度任用職員を雇用させた。しかし、復興予算減の中で減員状況であり、今度の6月の定例会で会計年度任用職員の処遇改善と併せ雇用確保を求めていく。中核市となる盛岡市と県がしっかりと連携を図り、コロナ対策、地域経済を守っていく。そうした意味からも、来夏、盛岡市議会議員選挙に全身全霊で取り組む決意である。再び県職連合・県職労の皆さんに絶大なご支援をいただきたい。

最後にお願い申し上げ、執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。

【代議員発言は裏面】

「方針に対する主な質疑・答弁」

《久慈支部・北崎代議員》

・ガソリン価格の高騰などにより、可処分所得が減少している。実態を当局に突きつけてこれ以上の引き下げをさせないよう取り組むべき。

・会計年度任用職員の人数が減り、職員の負担が増えている。業務量も増えているので、会計年度任用職員を含め職場で必要な職員の配置を要請する。

（答弁）
・賃金は人勤制度により決

《盛岡支部・長沼代議員》

定される部分が多いが、安心して生活していくため、物価上昇も踏まえた賃金水準の維持・向上を求めていく。

・会計年度任用職員の配置については、総務部長着任交渉において実態を訴え、正規職員を含めた職場全体の働き方に見合った必要人員の確保を求めたところ。

慢性的な超過勤務や長時間労働の要因は人員不足にある。職場で必要な職員体制の確保に向けて、引き続き取り組む。

《盛岡支部・長沼代議員》

・人員不足が影響し、不適切な事務処理が相次いでいる。人員不足によりチェック体制が取れないことが不適切な事務処理の原因であることを職場の中から声をあげ、当局に訴える必要がある。職場点検や分会基礎調査だけでは改善につながらない。もうひと工夫した取り組みを。

（答弁）
・当局は、欠員は減少傾向にあるとしているが、定数に対する欠員であり職場で必要としている人数に対す

《県庁支部・佐々木代議員》

るものではない。職場実態を訴えながら人員要求の取り組みを進める。

・組合の様々な活動が組合員に伝わっていないかどうか。若し方の加入促進をするためには、メールやラインなど組合員が取りやすい方法で情報提供することが必要ではないか。情報発信の仕組みづくりを求める。

（答弁）
・組合員に対する活動の伝え方の再検討が必要と認識している。機関紙等を読んでもらえるような工夫、新

《久慈支部・刈谷代議員》

たな伝え方・ツールの利用について検討する。

・3年連続で年度途中異動により欠員となった。同じ職場で3年続くのはおかしい。配慮を。

（答弁）
・人事課に対し早期の欠員補充を強く要請し、あわせて、年度途中異動者本人及び所属に対する内々示等の配慮を求めた。欠員が生じないように、人員確保対策と併せて取り組んでいく。

《釜石支部・菊池代議員》

・フレックスタイム制の導入は、超勤手当の削減、経費節減という目的にしか見えない。隠れ残業の温床をなくす対策や冷暖房の稼働時間の拡大、在宅勤務における勤務場所の規制緩和を求めている。

・着任期間の規定はあるものの実質4月1日着任が前提となっている。着任期間の使い方の周知を。

（答弁）
・フレックスタイム制は、利用を求めている職員がいる中で、導入による職場の混乱を最小限に抑えるため、育児・介護等に限定した経緯がある。制度上の不具合がある場合は改善を求め、超過勤務に関しては、職員の

《宮古支部・松尾代議員》

・職訓協で5級から6級への昇給者はゼロ。55歳以上で最高号給到達者も多い。モチベーションの維持が課題となっているので改善を。

（答弁）
・高齢層職員の勤務意欲の確保は、定年延長にも関係して重要な課題と認識している。引き続き当局に対して改善要求をしていく。

《胆江支部・熊谷代議員》

して取り組みを進める。

・昨年度の新採用者が1年で異動となった。採用された若者に対し人材育成ビジョンを示すなど、希望をもつて働けるような仕組みづくりが必要。

（答弁）
・若年層の途中退職が増えている。人材育成ビジョンについて頂いた意見を参考に当局に求めていきたい。

《花巻支部・小野代議員》

・保健所では、業務量に見合った配置がされておらず、36協定が守られていない。協定を遵守させるため、それぞれの業務に必要な人員の洗い出しなどの運動を作っていくべき。

・政治闘争について、運動方針に野党共闘があまり触れられていない。野党共闘を視野に入れて取り組むのであれば、きちんと整理を

発言

代議員

釜石・菊池代議員

宮古・松尾代議員

久慈・北崎代議員

盛岡・細野代議員

盛岡・長沼代議員

胆江・熊谷代議員

県庁・佐々木代議員

花巻・小野代議員

久慈・刈谷代議員

健康確保や人員確保の取り組みと複合的に改善を求めていく。

・着任期間の取り扱いは、旧所属の状況や移転に係る状況なども含め、新所属と十分に話し合って適切に着任日を決めることを交渉の中で確認している。制度や取得方法については、学習会や教宣紙等を通じ、周知していく。

・保健所での業務量に見合った配置がされておらず、36協定が守られていない。協定を遵守させるため、それぞれの業務に必要な人員の洗い出しなどの運動を作っていくべき。

・政治闘争について、運動方針に野党共闘があまり触れられていない。野党共闘を視野に入れて取り組むのであれば、きちんと整理を

し、組合員に示すべき。

（答弁）
・保健所の人員配置については個別に対応しているが、目に見える改善には至っていない。業務量に見合った人員配置となるよう、引き続き強く求めていく。

・岩手選挙区については野党統一候補を堅持しながら闘うという基本的な考え方に変わりはない。比例代表については、鬼木まさことさんは自治労組織内であり、国政の中で県職労を含めた自治労の課題を直接意見反映できるように、一丸となって取り組む方針。我々公務員職場を脆弱に追い込んだこれまでの政治に歯止めをかけるため、立憲民主党の枠組みの中で、自治労の政策、職場の課題、県職労が持っている政治政策の対策を図っていく。

賃金・職場環境改善、平和と民主主義を護るたがいを

小田嶋中央執行委員長

熱心な討論に感謝申し上げます。答弁させていただきます。賃金課題では、可処分所得をしっかりと増やす賃金闘

争との発言を頂戴した。消費税が上がり支出が増えていく実態では賃下げと一緒。公務員の賃金要求1万

総括答弁要旨

五千円は全く賸沢ではなく、社会情勢をしっかりと捉え根拠ある要求をしていく。

代議員の発言で大半を占めたのが欠員、人員不足の課題。人が減り明らかに事務処理がおぼつかなくなっている。チェックする時間も足りない中、発生したミ

スの再発防止策にダブルチェックを求められる。そのため通常業務もおろそかになり残業、この繰り返しである。苦勞するの職員、ミスへの責任も職員では職場は持たない。皆さんと一緒に声を挙げ、当局を動かすためにも、分会基礎調査に取り組み、根拠ある要求を追求していく。

フレックスや在宅勤務等、働きやすい体制・制度は当然考えていくべき課題

とされている。しかし根底には住民サービスの確保が前提でなければならぬ。働く環境が整備されない状況でのフレックス提案に反対し、対象限定に修正させた。在宅勤務も職場でマンパワーを発揮できる体制が前提。職員にもゆとりがなければ職場は持たない。

SNS等の活用検討について、赤棒等は未加入者や新採用へ組合の動きを見せる意味合いもある。SNS

等により発信方法を工夫しながら組織強化と両立できるように取り組みたい。

平和と民主主義を護る取り組みのためにも、人事異動で住民票を移動された方は、新住所で投票する場合は、選挙管理委員会へ不在者投票の手続きを行い棄権しないようお願いしたい。

多くの課題を運動方針に補強いただいた。しっかりと皆さんと取り組みを進めていきたい。

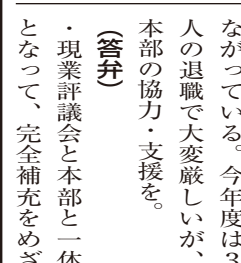
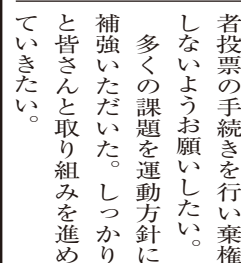
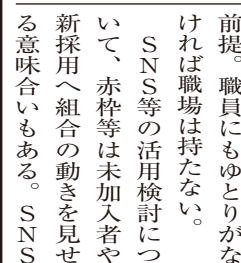
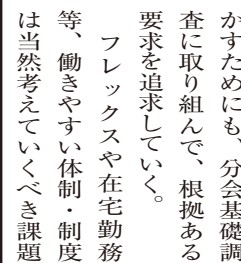
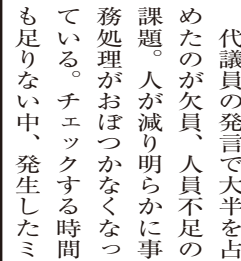
・現業評議会と本部と一体となって、完全補充をめざ

・現業評議会と本部と一体となって、完全補充をめざ

・現業評議会と本部と一体となって、完全補充をめざ



▲総括答弁の小田嶋委員長



▲賃金・労働条件改善に向け多くの議論が交わされた